

2019  
秀作

## 第17回「金融と経済を考える」高校生小論文コンクール

# ランドセルが教えてくれたこと

岡山県・岡山県立岡山大安寺中等教育学校 5年 吉行 日菜乃

「貧しいって何だろう。」私が「貧しさ」について初めて真剣に考えてみようと思ったのは中学3年生のとき、きっかけはランドセルだった。私のランドセルは、幼稚園を卒園する前に大好きな祖母からもらったものだった。祖母はそのとき肺がんを患っていたため、私が小学校に入学する前に他界した。ランドセルは祖母からの最後のプレゼントだった。ピカピカのランドセルを背負って小学生になった姿を、本当は祖母にも見てほしかった。その願いは叶わなかったが、私は6年間、本当に大切にランドセルを使い続けた。そんな思い出があったからこそ、中学生になってもなかなか捨てることができず、長い間押し入れにあったのだ。中学3年生になって押し入れを整理していたとき、久しぶりに目に留まり、ずっとこのままにしておくわけにもいかないと思った。そこで悩んでいたときに、「思い出のランドセルギフト」に出合った。

「思い出のランドセルギフト」とは、役目を終えたランドセルをアフガニスタンに寄贈し、恵まれない子どもたちの就学を支援する活動だ。アフガニスタンでは、特に女子が十分な教育を受けられていないという現状がある。ランドセルを男女平等に配ることで、みんなが同じように教育を受ける必要があるという考えを地域に根づかせることができる。ランドセルが、就学のきっかけになるのだ<sup>1)</sup>。私は迷わず寄贈することを決めた。押し入れでじっとしまわれているよりも、捨てられてゴミになるよりも、誰かに使ってもらう方がよっぽど良いと思った。その方が祖母だって喜んでくれるはず。「私が贈ったランドセルはどんな子に使われているのだろう。喜んでもらえたらいいな。」向こうで使われたランドセルは、次の世代の子にまた引き継がれるそうで、少しでも多くの子に使ってもらいたいと思った。ランドセルを受け取ってうれしそうにしている子どもたちの顔を想像すると胸がいっぱいになった。しかし、それと同時に私の心に何かひっかかるものを感じた。「そうか。日本ではみんなランドセルを

買ってもらえるけれど、それは当たり前のことではなかったのだ。」自分の中にある「当たり前」を無意識のうちに他のことにも当てはめていたことに気がついた。

今、日本ではたくさんのものが日々捨てられている。その中には、まだ食べられるものやまだ使えるものも大量に含まれている。日本は先進国で、世界の中でも比較的裕福な国であり、ものがあふれている。多くのものが捨てられると同時に多くのものが生産され、経済が回っている。一方で、発展途上国や貧しい国ではものが不足している。日々生きるのに精いっぱいな人たちにとっては、無駄なものなどないのだ。限られた食料や物資を大切に使用している人がいる裏で、私たちはものをいくらでもあると考え、簡単に捨てたりしてはいないか。確かに、国全体の経済の面で見ると日本は裕福かもしれないが、心の面で貧しいのは私たちの方ではないだろうか。

また、世の中では貧困をなくすために色々な活動が行われている。その中でも、経済支援について考えてみた。支援を受ける側が本当に望んでいることを実行するのは難しい。もちろん、食料や物資を確保することや病気を治すことは優先させるべきだ。しかし、最近では、ただ物資を送るだけでなく、根本的な貧困解決を目指した支援が行われていることを知った。いくら物資を供給しても、貧困の要因を追究しなければ改善にはつながらない。一時的な援助ではない、長い目で見た支援は大切だと思った。保健衛生の改善、教育機会の拡充、生計向上等、多くの課題があり、すぐに解決するのは難しい。だが、地域の人たちが自力で経済を回せるようになるまでは周りの力が必要だ。このような理解がもっと広がって、活動も広がってほしいと思った。

私が送ったランドセル一つで世界を変えることはできない。でも、少しでも「きっかけ」になってくれたら良いと思った。どんなに小さなものでも集まれば大きなものになるし、長く続ければ必ず成果は出る。ランドセルのおかげで、私はたくさんを知り、自分なりに考えることができた。実際に行って見たわけではないけれど、貧困という問題は様々な要因が複雑に絡み合っていて、非常に深刻だ。またそれは、これから先ずっと言われ続けることだろう。「どこか遠い国で起きていることだから。」と思うのではなく、「自分にできることは何だろう。」と考えて生活するだけでも世界はもっと違ったものになると思う。

一人ひとりが自分の心の中に豊かさを持つことは大切だ。経済的な問題と捉えられがちなことも、気持ちの視点から考えることで新しい展開が生まれていくのではないか。自分はそういった見方ができる人でありたい。

(注)

1) 国際協力 NGO ジョイセフ「思い出のランドセルギフト」

URL [https://www.joicfp.or.jp/jpn/donate/support/omoide\\_ransel/](https://www.joicfp.or.jp/jpn/donate/support/omoide_ransel/)

